

装い新たな文化の殿堂

—カメラがとらえた新県立図書館—



近代的施設設備を誇る県立図書館の一階には、新しく二十四万冊収容できる電動開架書庫が設けられました。ボタン一つ押すだけで望みのコーナーが開き、本を取り出すことができるもので、従来の固定書庫の約三分の一の面積で充分と合理化されています。



館内はアーチ型の屋根と総ガラス張りの周囲から採光された自然光で申し分ない明るさです。



郷土室、参考室には賢治や啄木文庫などのほか、郷土関係の資料が集められています



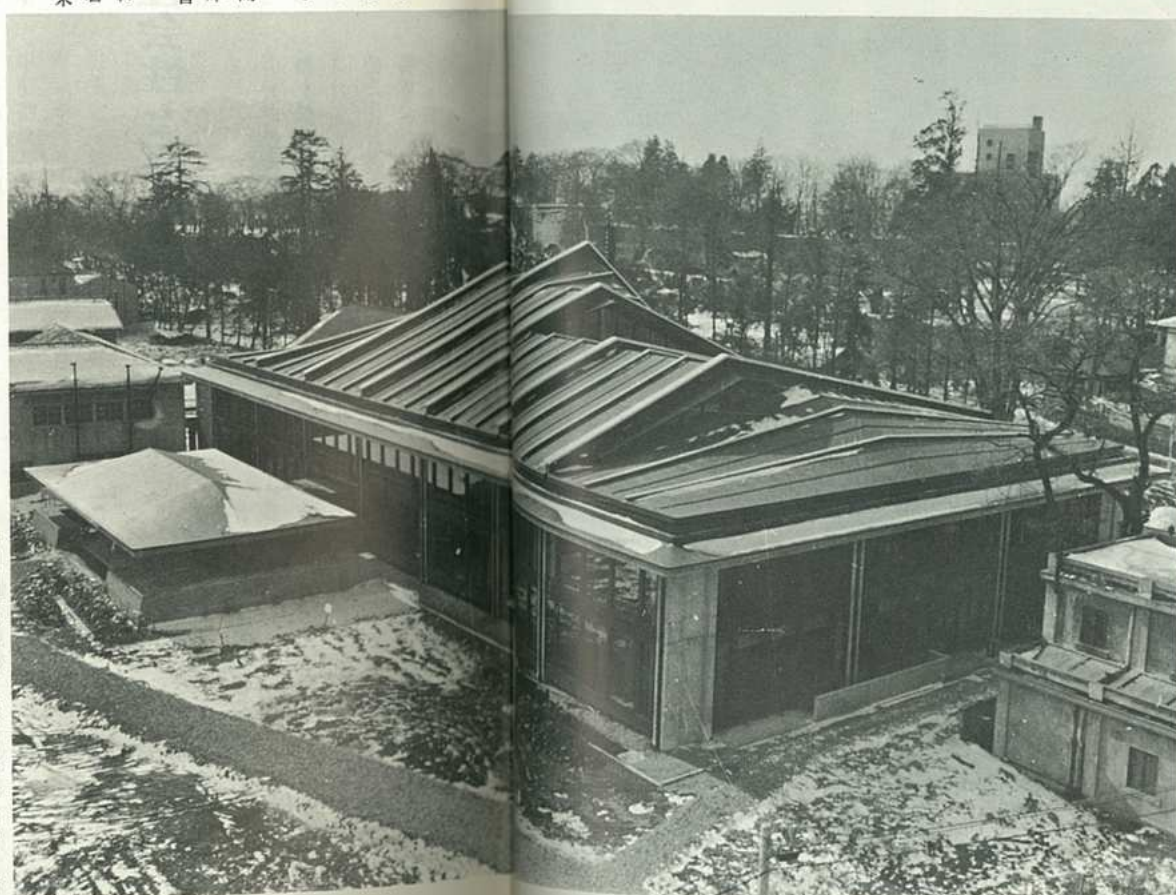
特別閲覧室は、長時間にわたって古文書や資料調査をする利用者のために設けられています。

県立図書館が新築落成し、二月十日開館しました。
昭和四十一年十一月に着工、約二億一千三百万円の工費をかけ、一部三階、地下一階、延べ面積三千五百七十九平方メートルの堂々たる建築美を誇って開館したものです。
屋根は、岩手公園の景観にマッチさせるために、アーチ型とし、採光を良くするために特別な工夫がほどこされています。
屋根の先端には、岩手の発展を表徴した「のびゆく若い芽」(舟越保武氏製作・東京芸大教授・本県出身)

が飾られ金色に輝いています。
館内の閲覧室は総ガラス張りであるが、旧館に比べて約三倍、二百七十八席が設けられましたが、みるからに広々とした感じをあたえています。
ボタン一つで自動的に書だなが開き、好みの本が取り出せる自動書庫が設けられ「母と子」のための読書室、レコード観賞室、映画試写室、集会室(百人収容)なども設けられました。蔵書可能数は三十万冊。岩手の文化発展に限りない役割りを果たすことでしょう。



高校生用に設けられた第二閲覧室は進学、受験をかかえた高校生で152のイス席も連日満員



盛岡市内丸の岩手公園の樹林をバックに特徴ある三角屋根のモダンな建物は道行く人の目を引きまします。



開架書庫は二万五千冊収容でき、手軽に自分の好きな本、調べたい資料を選び出せます。